

2014年度 第4回 CPC 研究会

日時: 9月19日 (金) 13:30 ~ 16:30

会場: 連合会館 201 会議室

(〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11 TEL: 03-3253-1771)

参加費: 維持会員・大学官公庁関係 = 無料 / 非会員 = 15,000 円

<http://cpc-society.org/>

13:30 ~ 14:55

「蓄電技術の現状と将来像」

旭化成株式会社 吉野 彰 氏

- 1) リチウムイオン電池の概要
- 2) リチウムイオン電池の開発経緯と成長経緯
- 3) 蓄電技術の現状と課題
- 4) 蓄電技術の将来像

リチウムイオン電池は携帯電話などの IT 機器の電源として広く使われてきており、さらに、これからは電気自動車などへの展開が始まっています。蓄電技術は資源・環境・エネルギー問題の解決に重要な役割を果たしていかなばなりません。このリチウムイオン電池の開発経緯と、これまでの成長経緯を振り返り、今後解決すべき課題、さらに蓄電技術がこれから未来に向けてどのように展開していくかについて述べます。

15:05 ~ 16:30

「PAN 系炭素繊維 トレカ 研究の最新動向」

東レ株式会社 田中 文彦 氏

- 1) PAN 系炭素繊維の構造と弾性率発現機構
- 2) PAN 系炭素繊維の引張強度
- 3) PAN 系炭素繊維の圧縮強度

炭素繊維は、黒鉛構造を基本とし、結晶性の高い部分と非晶部分からなるポリマーのような構造です。そのため、炭素繊維は黒鉛結晶子強化/非晶質炭素マトリックス複合材料としても考えることができます。炭素繊維全体と結晶子構造の差分解析から、炭素繊維中の非晶構造を考慮した、弾性率・引張強度・圧縮強度解析の結果を説明します。本知見を用いれば、炭素繊維は未だ物性向上の余地が大いに残されていると考えられます。

CPC 研究会講演会事務局行 FAX: 029-861-8712 または e-mail: sec@cpc-society.org
9月19日の研究会に出席します(連合会館 201 会議室)

お名前: 維持会員 非会員 大学関係

ご所属:

Tel:

Fax:

E-mail: